



みんなに伝えたい！ 漫画って本当に楽しい

## 熱い想いがファンタジーの世界へいざなう

### 村上 マコトさん

Makoto  
Murakami  
Manga-artist



代表作「ヤンキークエスト」は青年コミック誌で絶賛連載中。単行本は、日本文芸社から1～3巻が発売中で、今秋には第4巻が発売予定である。ヤンキーがファンタジーの世界に飛び込む奇抜なストーリーが読者を引きつけてはなさない。

漫画家

Manga-artist

本名：上村真寿美さん  
調理師の専門学校を卒業後、アパレル関係の会社に就職。4年後、漫画の世界へ転進。25歳で漫画家としてデビューを果たす。

#### ■漫画家としてのデビュー

マンガ(MANGA)といえば、日本がいまや世界に発信するクールジャパンのひとつ。しかし、この世界で活躍できる人は少ない。将来の夢として漫画家を志す人は多いが、いつしかかなわぬ夢として、心の奥にしまわれてしまう。そんな夢を掘り起こし、マンガの世界でさらに羽ばたこうとしている人がいる。25歳で漫画家としてデビューを果たした村上マコトさん。連載中の漫画は全国の書店、「コンビニ」に単行本が並ぶ。その作風は、少年誌ではポピュラーな俗にいう「ヤンキー漫画」。女性とは思えない独特の世界観をもつ。

#### ■きっかけは一冊のコミック本

彼女は、子どものころからの夢をかなえた訳ではない。「子どものころ少年マンガが好きで、よく読んでいましたが、漫画家になろうとは思っていませんでした。専門学校を卒業後、接客がしたくてアパレル関係の会社に就職しました」と漫画家

としての勉強は一切していなかったと話す。会社勤めをしているとき、ふと手にしたある一冊の漫画との出会いが、人生の大きな転機になったという。「何気なく読んだ漫画の内容に衝撃を受けました。心の奥に仕舞っていた何かが弾けた瞬間でした。どうしても、漫画を描きたくなったのです」。直ぐに退職を決意、迷いはなかったという。

「何の知識もなく、いきなり作品を出版社に持ち込んだら、ケン力を売っているのかと一蹴されてしまいました」。漫画のノウハウをまったく知らず勢いだけだったと当時を振り返る。「ちゃんと勉強しないと通用しないと実感しました。編集者のアドバイスで、どうにかアシスタントをしながら、技術を磨くことができました」。そのときについた先生から多くの技術を学び、今でも師と仰ぐ。

#### ■漫画こそ大好きなおもちゃ

アシスタントの仕事をしなが

下積みをして2年、ある出版社から声がかかり、念願の単行本を発行。「変わったストーリーだったので、編集者の目に留まったのだと思います。なかなか売れない時期だったのでラッキーでした」とあつげらんと話す村上さんだが、そこには相当な努力があったに違いない。

少女のような笑顔の奥に、なぜ男性的な力強い作品が描けるのか。それは、小さいころ男の子たちと自然豊かな毛呂山の野山を駆け巡った体験が、いまでも宝物だからと話す。「何しろ漫画を描くことが楽しくてしかたがないです。大好きなおもちゃを手に入れたようなものですから」と満面の笑顔で答えてくれた村上さん。

今の夢は、作品がアニメ化され、たくさんの人に観てもらえることだと話す村上さんだが、これからも、自然豊かな毛呂山にずっと住んでいたいと語ってくれた。いつしか郷土を代表する漫画家として名を馳せてほしい。

